



医療センターでは、老朽化や狭あい化に起因する問題を解決するため、建て替えの計画を進めています。建て替え計画の基本構想策定から約10年が経過していることから、医療の進歩や変化を踏まえて、改めて新病院に必要な機能や規模を検討しています。

引き続き、新病院建設Newsでは、新病院の計画や検討状況などをお伝えしていきます。

院長 茂木 健司

今回の内容

移転建て替えの検討状況について

令和7年9月に市が設置した、医療センターの移転建て替え実施に向けた検討を行う“船橋市立医療センター移転建替庁内協議会”での検討状況をご説明します。主な内容は、『新病院の機能・規模を整理した結果、どのような建物になるのか、どのくらいの工事費になるのか』というものになります。

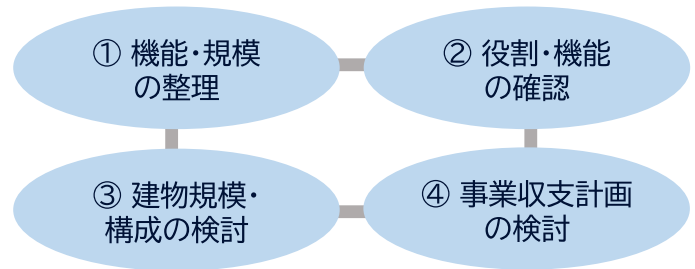
これまで庁内協議会で検討してきたこと

① 機能・規模の整理

有識者の助言等をいただきながら、将来の人口や医療需要の見込み、医療体制などの動向を踏まえ、将来の入院患者数を推計し、そのために必要な病床数を整理しました。

② 役割・機能の確認

船橋市医師会、船橋歯科医師会、船橋薬剤師会よりご意見を伺い、地域医療の観点から『新病院の役割・機能の確認』を行いました。



庁内協議会の検討内容

以上の検討から**必要な病床数を400床程度と整理**しました。

なお、医療センターが地域医療の中で担っている役割(第三次救急医療機関、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、地域災害拠点病院など)は引き続きしっかり果たしていきます。

※詳しくは、新病院建設News No.12をご覧ください。

新たに庁内協議会で検討したこと

● 必要諸室の検討

新病院に必要な諸室の構成と室数について、病床数の検討と同様に医療需要の見込みや運用方法の検討を行い、次の表のとおり整理しました。

	新病院 当初計画	庁内協議会 検討結果	現病院	備考
手術室	13室	11室	8室	
外来診察室	65室	50室	50室	
化学療法室 (がん治療)	37床	30床	19床	
PET-CT (がん等の検査)	1室	無	-	将来増築対応
健診センター	有	無	-	PET-CTと健診センターは同時期で検討
レストラン	スペース確保	無	有	将来増築対応 (イートインコーナーは整備)
会議室	-	見直し	-	将来対応等で会議室としていた部分の見直し
執務スペース等	-	見直し	-	

● 病床構成の検討

新病院に必要な病床数を400床程度と整理しましたが、病床には一般病床のほか、ICUなどの高機能病床や小児科などの特殊な病床があります。将来の医療需要の見込みや運用面から各病床の必要数を検討し、次の表のとおり整理しました。

	新病院 当初計画	庁内協議会 検討結果	現病院	備考
ICU（集中治療室）	12床	8床	8床	
HCU（高度治療室）	8床	8床	※ 7床	※R8年1月より新たに設置
ACU（救命救急治療室）	8床	8床	7床	
SCU（脳卒中集中治療室）	15床	15床	※ 12床	※R8年1月より3床増設
小児病棟	30床	30床	※ 30床	※R8年1月より1床増設
産科病棟	8床	8床	※ -	※一般（女性）病棟に含む
緩和ケア病棟	20床	20床	20床	
救急病棟	21床	21床	28床	新病院はMPU（精神科身体合併症病棟）含む 高機能病床の増加や運用方法の検討による
一般病棟	378床	282~307床	337床	
合計	500床	400~425床	449床	病室のつくりによって病床稼働率が変わると考え、検討結果に幅があります。

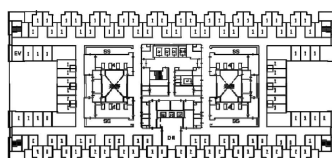
● 建物規模・概算工事費の検討

ここまでの検討で整理した必要諸室と病床数を踏まえて、どのような建物になるのか、どれくらいの工事費になるのかを概略で検討しました。

必要諸室などの条件をもとに、低層階の大まかな配置を検討し、建物規模を整理



必要な病床数などの条件をもとに、基準となる病棟プランを検討し、建物規模を整理



7F						0床
6F	一般		SCU	緩和		95床
5F	一般					120床
4F	女性一般	産科	MPU	小児	リハビリ	110床
3F	ACU	救急				59床
2F	ICU	HCU				16床
1F						0床
合計						400床

整理した建物規模をもとに概算工事費を検討

一般病棟の病室のつくりは、患者さんの療養環境や運用面(性別の分けや感染症への配慮)から原則個室が望ましいと考えていますが、今回の検討では『原則個室』に加えて『2床室+個室』や『4床室+個室』の場合等、複数パターンを検討した結果、**延床面積は約45,000㎡~48,000㎡、概算工事費は約631億円~657億円***と整理しました。

※概算工事費は、病院棟のほか、立体駐車場、外構、造成工事などを含んだ金額です。

庁内協議会の今後の検討

今後は『④事業収支計画の検討』として、概算工事費や医療機器購入などの初期費用だけでなく、人件費や材料費などの運営費用も踏まえて、検討してまいります(令和8年度 上半期目標)。

庁内協議会としての案を整理した後、市として事業の方向性を判断します。

お寄せいただくことが多いご質問・ご意見についての市の考え方も掲載しています。

